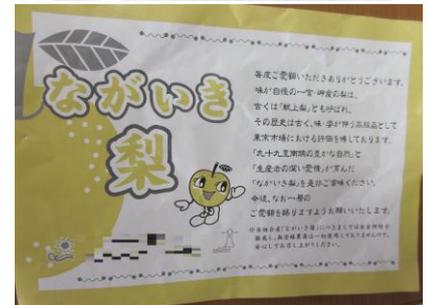


## 第101回 ほほえみ 開催

8月23日（水）第101回 ほほえみを開催しました。  
今回はお盆期間にもかかわらず、7名の方が参加してくれました。  
参加者の方からお裾分けをいただきました。その名も『ながいき梨』。  
とってもみずみずしくて、みんなで「これで長生きできるね」  
なんて言いながらおいしくいただきました。  
次回は、お楽しみ企画として「手品」を開催します。  
14時から1時間程度手品を観賞し、その後、1時間程度通常のサロン  
を行う予定としています。みなさん、是非ご参加下さい。



【がんサロン事務局】

次回のほほえみは、9/20（水）14時から16時まで  
北館3階 大会議室での開催となります

### 『医師とともに・・・』

（がん体験記）

『医者とは、病気を治してくれる人』——。

私はずっと、そう思っていました。

でも、乳がんになって、そうではないことを知りました。

それは、“治療の選択が患者自身にある”こと。そして、“長い治療の中で、医師とともに歩んでいく”ということです。

私は乳がんになるまで大きな病気をしたことはありませんが、昔は医者の言われるままに治療をしていたようなイメージがあります。なので、自分ががんになったとき、医師に治療の希望を聞かれたのには驚きました。

実際には、がん告知を受けたばかりの病気の素人に・・・しかも、がんという病に悲しみと絶望感を抱いているさなかに治療の選択を迫られるのは、本当に難しいものでしたが・・・。

ある医師がこんなことを言っていたのを、私は今でも忘れることができません。それは・・・。

「医者が病気を治すんじゃない。私たちは、患者さんが“治そうとする力”の手助けをすること」だと——。

医師は、なんでも治せる“神”ではない。患者自身も病を知り、自分の生き方に合った治療を選択しながら病と向き合っていかなければならないのかもしれないかもしれません。

（北海道／女性／乳がん／がん患者本人）